



宇治小学校への侵入者による 傷害事件について



12月19日に開かれた臨時校・園長会議。園児・児童・生徒の安全確保と学校の安全管理の徹底を指示しました

事件の概要

今回の事件で被害を受けた児童及びその保護者の皆様、宇治小学校の全児童及び保護者の皆様にお見舞いを申し上げますとともに、市民の皆様には、たいへんご心配をおかけしたことについて深くおわびいたします。この事件の概要と経過、今後の対策についてお知らせします。
問 教育総務課

市民の皆様には、既に新聞紙上などで事件の概要はご承知のことと思いますが、この12月18日に宇治小学校（小松美恵子校長）におきまして、給食の時間中に、1年1組の教室の前側出入口から刃物を持った男が侵入し、給食中の男子児童2人の頭部に傷を負わせました。教室では、担任教諭と指

事件後の対応

導補助教員が給食の指導に当たっていましたが、担任教諭の指示で指導補助教員が、ほかの児童を前後の出入口から避難させ、安全な場所へ誘導しながら、職員室へ「不審者」と大声で連絡をしました。一方、担任教諭は、児童の避難を確認のうえ、被害に遭った児童を保健室に運びました。連絡を

事件発生後直ちに、市教育委員会内に谷口教育長を本部長とする対策本部を設置。宇治小学校へ職員を派遣するとともに、市立の全幼稚園、小・中学校に対して園児・児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理の一層の徹底について指示し、同時に市立の全幼稚園、小・中学校の学校安全設備（防犯カメラ等）を点検しました。併せて、市として

隣の1年2組の教室へ移動した犯人を、2組の担任教諭とともに取り押さえました。その後、110番通報で駆け付けた警察官が犯人を逮捕しました。被害に遭った児童は、養護教諭が応急処置をした後、救急車で病院に搬送され治療を受けました。

今回の事件で、市民の皆様にもかかわらず、今回このような痛ましい事件が発生したことは誠に遺憾であり、被害を受けた児童及びその保護者の皆様、さらには宇治小学校の全児童及び保護者の皆様には、心からお見舞いを申し上げます。今後かかる事態が再発しないよう防止に全力を挙げて参りますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

宇治市長 久保田 勇
宇治市教育委員会
教育長 谷口 道夫

再発防止に向けて

適切な児童の指導に配慮してまいります。また、放課後や他校区の場合でも心のケアを受けられるよう、京都府総合教育センター内と京都府警察本部少年課少年サポートセンター内に「心のケア相談窓口」を設置しました。

臨牀心理士が被害に遭った児童と、そのまわりの児童のケアに当たるとともに、教職員は、指導主事及び臨牀心理士から助言を受けながら、より



正門・通用門等に設置されている出入者感知センサーと防犯カメラ

職員室に設置されている防犯カメラのモニター

いずれも、市立の全幼稚園、小・中学校及び、市立の保育所に設置されています。

市教育委員会では、平成13年6月に起きた大阪教育大学附属池田小学校の事件を機に策定した「学校（園）安全対策マニュアル」を再度全教職員に周知徹底し、園児・児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理の一層の徹底を図ります。また、事件発生後に行った学校安全設備の点検の結果を踏まえ、安全対策マニュアルが徹底されていない面を反省し、今後の校内の安全管理体制の強化に努めるとともに、地域や家庭の一層の協力を得て、連携しながら再発防止のために万全の対策を講じて参ります。市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆この宇治市政だよりは、古紙配合率100%の再生紙を使っています。限りある資源を大切に◆